

インドネシア・エチレンプラントの能力増強プロジェクトを受注

平成 25 年 9 月 17 日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社(TOYO、取締役社長 石橋 克基)は、インドネシアのチャンドラ・アスリ・ペトロケミカルより、ジャワ島西部チレゴン近郊で稼働中の、ナフサを原料としたエチレンプラントの能力増強プロジェクトを受注しました。

本プロジェクトは 1990 年代にルーマス法エチレン技術を基に、当社が建設した既設プラントの生産能力を、現在の年産 60 万トンから 86 万トンへと増強するもので、昨年 7 月より本プロジェクトの FEED 業務を実施しました。既設プラントの建設実績及び FEED での各種提案が評価され、今般詳細設計、調達、建設工事一括を受注しました。本プロジェクトの完工は 2015 年末を予定しています。

約2億4千万人の人口を抱えて経済成長の著しいインドネシア市場では石油化学品の需要は高く、本客先向けにインドネシア初のブタジエンプラントを近々完工する予定であり、今後も様々なエチレンの下流設備が計画されています。またTOYOは現在、カリマンタン島、スマトラ島、スラウェシ島にて3件の大型肥料案件を実施中であり、今後もグループ会社のイーカーペーター(IKPT)と協力し積極的にビジネス拡大を図ります。

受注概要

- 客 先: チャンドラ・アスリ・ペトロケミカル社(PT. Chandra Asri Petrochemical Tbk.)
- 受注者: 東洋エンジニアリングと IKPT
- 建設地: インドネシア ジャワ島西部 チレゴン近郊 アニエール
- 対象設備: エチレンプラント 年産 60 万トンから 86 万トンへの能力増強並びに付帯用役設備の能力増強
- 役務内容: 詳細設計、機器資材の調達および工事までの一括請負
- 完成予定: 2015 年末

<お問い合わせ先>

広報・IR 室 [担当:佐藤、深沢] TEL:047-454-1113